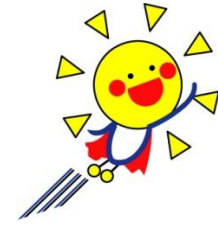


公民館だより

和田 その2

第 249 号
平成 27 年 5 月 22 日発行
日置市吹上町和田地区公民館
電話 099-296-3031



おひさま運動

- ◎ はようの声ひびく 思いやり育てる やさしいまち
- ◎ ろげよう読書 感動あふれる 学びのまち
- ◎ わやかな汗 心と体きたえる 健康なまち
- ◎ もろう決まり みんなでつくる 安全なまち

「婦人学級」開級式

5月8日(金)に「婦人学級」開級式が開催されました。

ゴミ減量に協力し、

少しでも自治会の財源確保に

当日は、開級式の前に研修会が行われ、日置市行政出前講座から「1日100gごみ減らしてみませんか」を受講しました。

講師には吹上支所市民課環境衛生係の田原係長が来られ、日置市のごみ処理の状況、これから始まる生ごみの回収方法、処理方法等について具体的に説明していただきました。市税で運用している日置市クリーン・リサイクルセンターの運営費等、年間約5億円や焼却灰はダイオキシンを含むため5千万円の処分料がかかるとのことでした。

また、燃やさないことでCO₂の発生を抑制し、地球温暖化対策に貢献するための事業が27年7月から始まります。この事業は、生ごみ削減に取り組んだ自治会には「コツコツマイレージ」として報奨金(上限50,000円)を支払うものです。

なお、すでに笠口・上和田・下和田自治会では、取り組もうと話し合いを進めています。

次に、開級式が行われ、田中和子運営委員長挨拶、学級紹介、学習の年間計画等について説明が行われました。

学習計画では、6月体操、7月出前講座、9月音楽レクレーション、10月研修視察、11月文化祭出品作品制作、3月閉級式、などの日程が決まりました。

婦人学級は、学級生約50名と、和田地区では最大規模の団体となっています。今後もますます、充実しますように皆様の積極的な参加をお願いいたします。



「婦人学級」開級式

「高齢者学級」開級式

5月19日(火)に「高齢者学級」開級式が開催されました。

認知症予防には、閉じこもらず、社会参加活動が最適

当日は、開級式の前に講演が行われました。市行政出前講座から「介護保険制度とは」を受講しました。

講師には、市介護保険課包括支援センターから丸田千秋先生が来られ、日置市、鹿児島県の高齢化率、平均寿命、健康寿命、介護保険の利用状況などについて、話をされました。

一人で家に閉じこもらず、できるだけ外に出て活動することが認知症の防止になるとのことです。

今後、高齢化がますます進むため、互助の精神を大切にしましょう。講座終了後に開級式が行われました。上床耕造運営委員長のあいさつ、学級紹介、学習の年間計画、等について説明が行われました。

今年の学習内容は、5月グラウンドゴルフ大会、7月講話、8月地区先祖追弔会、9月グラウンドゴルフ大会、10月研修視察、11月秋祭り/読書祭り、和田地区文化祭、2月高齢者学級閉級式、また、今年から新たに、公民館ソフト事業に係る活動などがあります。



「高齢者学級」開級式 講座

学級生募集中です。

地区公民館では高齢者学級で学ぶ、集う仲間を募集しています。

現在の学級生は、瀬谷4名、中和田11名、下和田21名、笠岡2名 計38名です。地区内の高齢化率(65歳以上)は、41.53%です。地区内人口の大半を占める皆さんが元気で長生きできることは、地域の活性化、元気にもつながります。

市の40歳以上のアンケート調査では、問「今後、希望する生活の場所」⇒「現在のまま住みたい」85.4% 多くの方が、地元を希望しています。

ずっと住みたい地域実現のためにまずは、学級に参加し、仲間をつくり、楽しんでみませんか。

あなたの参加をお待ちしています。

地区グラウンドゴルフ大会

6月28日(日)和田小学校で開催

体育部では、多くの方が参加しやすいように、初めて和田小学校での開催を予定しています。健康づくり、仲間づくりにご気軽に参加してください。

各自治会体育部長まで

6月の行事予定

日	曜	行 事
2	火	ヨガクラブ
3	水	硬筆クラブ
10	水	脳トレ・筋トレ教室 9:30~11:30 硬筆クラブ
12	金	婦人学級(体操) 20:00~
13	土	カラオケ同好会
16	火	夏祭り運営打合せ会 食育サークル ヨガクラブ
17	水	硬筆クラブ
19	金	男性料理教室 10:00~
20	土	楽しく子育て講座(親子ヨガ) 10:00~12:00 カラオケ同好会
22	月	生け花
24	水	硬筆クラブ
28	日	地区グラウンド・ゴルフ大会

平成 27 年度和田水土里クラブ予算
3,027,424 円でスタート

和田水土里クラブは、4年目を迎えます。地区の皆さんの協力で水土里クラブ活動に加入し、農地の保全管理にかかる費用を助成してもらっています。



地区公民館専門部会開かる

今年から始まる第 3 期地区振興計画 (ソフト事業 ; 事業費 2,435,000 円) の取り組みを話し合うために 4 月 30 日専門部会、5 月 7 日に総務部会が開催されました。

6 分野 11 事業 (4 月号で掲載) で行いますが、地域の皆様のご理解と協力なしには実施できません。和田地区の最大のテーマである「ずっと住みたい地域」の実現に向けて取り組んでいきましょう。

今号では、総務部会での協議内容をお知らせします。健康福祉分野などの内容は、次号に掲載します。

分野 1 ; 定住促進 ① 空き家・空き地対策事業

空き家・空き地調査にご協力を

地区内の空き家・空き地を活かして 和田地区内への定住促進を図るために空き家・空き地の調査を行います。

今回の調査で空き家空き地を地区公民館に登録していただき、公民館だよりなどで PR し、地区内に移住を希望される方に情報を提供します。なお、地区公民館では、紹介のみです。ご了承ください。

地区公民館に登録いただいた空き家・空き地は、ソフト事業により地区で管理作業など支援を行います。この機会に登録してください。

「調査書」は、各自治会長さん、地区公民館まで

②情報発信事業：地区公民館ホームページの作成に取り組み、地区内の動きや空き家情報などを地区内外に発信

③子育て支援事業：ひまわり団地など乳幼児を持つ親の交流の場として地区内外を問わず、参加を呼びかけ、地区行事 (夏祭り、運動会、文化祭など) への参加を通じて、若い世帯へ和田地区の魅力を知ってもらいます。



総務部・青少年育成部合同部会

分野 3 ; 景観形成 きれいな地域づくりにできることから取り組みましょう

路傍植栽～和田地区では、主要市道にサルスベリを植栽し、青壮年部を中心に管理してきました。サルスベリの補植、更新を行います。苗木の必要な自治会は、5 月末までに各自治会長さんへご連絡ください。なお、サルスベリに代わる路傍植栽の品種を希望される自治会は、品種の選定を急いでください。

花苗配布～年 2 回です。

1 回目は、6 月 5 日配布予定。サルビア、マリーゴールドです。
2 回目は、11 月頃になります。8 月頃に品種・希望本数を取ります。

河川・主要市道の伐採清掃

各自治会高齢化が進み、自治会の作業では限界があることから、元気のある地区内外の有志の方々によるボランティア作業を支援するものです。作業に要する燃料代、草刈り機などの使用料を支援します。

「いい環境は、住む人の心を豊かにし」「美しい農村景観は、訪れる人の心を和ませてくれます」。一人ひとりができることから取り組みましょう。

地区の懸案事項解決に向けて、ご協力を 懸案 1 ; 若者の住みやすい環境づくりを進めていますか

市では、定住促進補助金 (和田地区で 100 万円以上の助成) を拡充し、市内への定住促進に取り組んでいます。市内 4 地域とも増えるのは中心部のみで、その周辺部は減少しています。

和田地区も未就学児は、下和田、笠岡自治会のみです。

この現状を厳しく受け止める必要があります。

将来の地域の担い手もいなくなります。要因として、非民主的な地域の慣習 (欠会費の徴収など)、団体の運営があるとされています。

地区内でも笠岡、助代自治会では欠会費の制度はなく、自治会運営を行っている実績があります。両自治会とも市道作業などには、地区外の方も出てきて協力してくださるそうです。

昔から行っていることも時代に合わなければ改善していく勇気が必要です。和田地区へ住んでもらうには避けて通れない課題です。各自治会・団体でよく話し合ってください。

総務部会でも協議していきます。

懸案 2 ; 和田地区は、市老人クラブに未加入のままでよいのでしょうか

和田地区の各自治会老人クラブが市老連より脱退し、吹上地域では和田地区のみ未加入です。このままでは、市の実施する高齢化対策関連事業が進めにくくなり、各種の補助事業やサービスも受けられません。

(現在、老人クラブには、年 56,400 円の運営費、花いっぱい 5000 円、友愛訪問活動 8,000 円 計 69,400 円の助成があります。福祉バスを利用し、年 3 回までは無料で老人福祉センターを利用できます。)

今後、和田地区でも高齢者は増えていきます。安心して暮らし続ける地域実現のためにも高齢者の組織は、重要です。

この課題は、各自治会や高齢部で話し合っていたくことになりました。

(裏面もご覧ください)